



午前10時0分 開会

○委員長（原田素代君） 皆さん、おはようございます。

ただいまより第14回議会運営委員会の開会をいたします。

開会に先立ちまして、議長よりの挨拶をお願いいたします。

○議長（小田百合子君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 議長。

○議長（小田百合子君） 皆さん、おはようございます。

いよいよ12月議会ということで、本日は日程について、またほかのいろんな案件を協議していただきたいと思っておりますので、どうかよろしく申し上げます。

以上です。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項第1番、平成25年12月行事予定について、議会事務局、執行部からそれぞれ説明をお願いします。

○議会事務局長（富山義昭君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、事務局長。

○議会事務局長（富山義昭君） それでは、お手元の資料を1枚はぐっていただきまして、1ページ、平成25年12月議会行事予定（案）でございます。

12月2日、この日は11月29日から始まります議会ですが、休会、予備日となっております。

3日火曜日が10時から本会議、一般質問でございます。議場で全議員の御出席です。

翌4日水曜日にも10時から本会議、一般質問でございます。議場で全議員の御出席です。

5日木曜日は休会、予備日となっております。

6日金曜日、10時から本会議、質疑、委員会付託でございます。議場で全議員の御出席です。

7日土曜日は13時から赤磐市人権を考える集いが中央公民館大集会室で開催されます。各議員の御参加をお願いいたします。

9日月曜日は休会、予備日となっております。

12月10日火曜日、10時から産業建設常任委員会、委員会室で産業建設常任委員の皆さんの御出席をお願いいたします。この日、14時からは赤磐市シルバー人材センター理事会がシルバー人材センターで開催されます。実盛議員の御出席です。

11日水曜日は10時から総務文教常任委員会が委員会室で開催されます。総務文教常任委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

12日木曜日は10時から厚生常任委員会、委員会室で開催されます。厚生常任委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

13日金曜日は休会、予備日となっております。

16日月曜日、10時から議会基本条例特別委員会が委員会室で開催されます。議会基本条例特別委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

19日木曜日、10時から本会議、委員長報告、質疑、討論、採決になります。議場で開催されます。全議員の御出席をお願いいたします。

20日金曜日は9時から例月出納検査が監査事務局で行われます。行本議員の御出席です。

12月24日、10時から和気老人ホーム組合議会が和気町役場で、澤、実盛両議員の御出席です。11時から和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合議会が和気町役場で開催されます。治徳議員、原田議員、松田議員、小田議員の御出席をお願いいたします。13時から東備農業共済事務組合議会が和気町役場で開催されます。光成議員、治徳議員、金谷議員、北川議員の御出席をお願いいたします。15時から和気北部衛生施設組合議会が引き続き和気町役場で開催されます。保田議員、北川議員、佐藤議員、実盛議員の御出席をお願いいたします。

12月26日木曜日、10時から議会運営委員会が委員会室で開催されます。議会運営委員の皆さんの御出席をお願いいたします。

以上が議会の行事予定（案）でございます。

○委員長（原田素代君） そしたら……。

○総務部長（池本耕治君） 委員長、総務部長。

○委員長（原田素代君） 池本部長お願いします。

○総務部長（池本耕治君） それでは、右側のページの12月市行事予定（案）でございます。

12月1日日曜日、9時50分から赤磐産品展示即売会、産業会館で市長が出席です。

2日月曜日、休会日でございます。9時30分から指名委員会、副市長の出席です。

3日火曜日、10時から本会議、一般質問でございます。三役が出席いたします。

4日水曜日、10時から同じく本会議、一般質問、三役の出席です。

5日木曜日は休会、予備日でございます。

6日金曜日、10時から本会議、質疑、委員会付託、三役が出席です。

7日土曜日、13時から赤磐市人権を考える集い、中央公民館集会室で市長、教育長の出席です。

9日月曜日、休会、予備日です。

10日火曜日、10時から産業建設常任委員会、市長、副市長の出席です。

11日水曜日、10時から総務文教常任委員会、三役の出席です。

12日木曜日、10時から厚生常任委員会、市長、副市長の出席です。15時から教育委員会議、中央図書館で教育長が出席です。

13日金曜日、休会、予備日でございます。

14日土曜日、13時30分から赤磐市自治連合会全体研修会、桜が丘いきいき交流センターで三

役の出席です。

16日月曜日、9時30分から指名委員会、副市長が出席です。

19日木曜日、10時から本会議、委員長報告、質疑、討論、採決、三役が出席です。

20日金曜日、13時30分から田原用水組合役員会、市役所1階会議室で市長が出席です。

24日火曜日、10時から和気老人ホーム組合議会、11時から和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合議会、13時から東備農業共済事務組合議会、15時から和気北部衛生施設組合議会、いずれも和気町役場で市長が出席です。

26日木曜日、10時から議会運営委員会、三役の出席です。

27日金曜日、17時15分から仕事納めでございます。各本庁、支所で行います。

28日土曜日、19時から年末夜警出発式、消防本部2階会議室で市長、副市長が出席をいたします。

この表の外になりますけれども、議会初日、11月29日でございますけれども、午前10時15分からJ－A－L－E－R－T全国一斉緊急地震速報の訓練がございます。よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○委員長（原田素代君） 説明が終わりました。

説明について、委員さんのほうからの御質疑がありましたらお願いします。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 市の行事で12月1日の赤磐産品展示即売会っていうのがあって、これは市長が出るようになってるんですが、これは産建なんかの関係ちゅうのは全くない、これ多分商工会がやっとなるんだと思うんですけど、産建なんか関係ないということなんですか、これ。

○委員長（原田素代君） 池本部長。

○総務部長（池本耕治君） 今、委員おっしゃられたように、商工会が主催でございます、ブランド品の販売とか模擬店を出店するということは聞いておりますけれども、全く関係ないということではないと思います。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（原田素代君） はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 関係ないということなら関係ないということでお聞きしときます。

○総務部長（池本耕治君） 関係ないということではないと思います。

○委員（金谷文則君） 関係ないことではないということでお聞きしときます。担当はいないんでしょうから、結構です。

○委員長（原田素代君） ほかに何かお尋ねがありませんか。

はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 多分、赤磐の産品を一生懸命何とかしなきゃいけないってみんなが思ってる中で、産建の中でこういうものがありますというこの間の委員会の中でもなくて、ここに出てきてるんで、やっぱり議会の議員、特に産建なんかでもできるだけみんなが協力してそれを盛り上げるというような姿勢を示すべきじゃないのかなと思ったので、ただここに事業あったので質問させていただきました。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 答やええんじやろ。

きょう何が言いてえというんじやねんじやけど、こういう今同僚委員が言われた話なんじやけど、何かちぐはぐで、商工会へ任しときやえんじやとか、産品の展示の。どう言うてえんかな、姿勢がわからんというんかな。やっぱりこれ、ええときには議会と執行部は両輪ですというて、何かこれ妙な、今金谷さんが質問しようるけど、同じことを言わんとしよんじやけど、これに関してじゃのうて、ほかのこともやっぱりよう今後気をつけてもらいてえと思うんですよ。

来いというんじやねえけど、これ見たら行事があるというのわかるんじやけど、こういうことがあるから委員会、せめて産建ぐれえじやったら、総務に関係、総務とか、厚生あるのは厚生んときにやっぱり言うていただきてえということがちょっと1点とったんですよ。不親切なというか、おまえら議員じやろう、そのぐれえわかろうがなというて、わからん者もおるんじやし、やっぱり。

それから、絡みで言わせてもらうんじやけど、アグリとかいろいろやりよって、応援に行っただげてえなと思って、もうえんじやと、これだけすんじやというて人を排除の論理でやられて、議員さんがとかという話じゃねんじやけど、議員とか商工会ですわな、あそこは、アグリは。議員さんというんじやねえけど、何かもう一部の人の、一部の利用で、一部のことになって、一部の活動というんか宣伝、PRになったりしよんで、やっぱりそういうこっちゃちょっと進んでいくのおかしんで、ぜひ今後やるときにや、こういうときに、今の話でもとへ戻るんじやねえすけど、産業建設委員会じやとか、総務でもええです、厚生でもどこの委員会でもこういう展示即売会がある、議員の皆さん行けりや出席してくださいというようなことがあったほうがえんじやねえかなと、親切というんか、このことぐれえわからんのんか言われるんかもしれん。来んでもえかったという場合もあるんで、ちょっとそこらしてもらいてえと思いました。そういうことです。どんなか。

○委員長（原田素代君） いいですか。

関連でしたら、岡崎さん、どうぞ。

○副議長（岡崎達義君） 関連です。

○委員長（原田素代君） はい、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） 関連なんですけど、先ほどの展示即売会でもそうですし、人権を考える集いなんかでもそうなんですけど、議員が出席っていうことになりますと内容をやっぱり知りたいと思うんですよ。どういう内容で、どういうふうにしてやるのかっていうのをやっぱり前もってパンフレットとかそういうの、簡単なものでよろしいですから、上等な印刷じゃなくてよろしいですから、そういうものをちょっと配ってほしいと思うんです。

そんなことは毎年やってることじゃからわかっただろうっていうあれでもあれなんですけど、先ほども言われましたけど。少しそこらあたりを親切にしてほしいと思います。

○委員（北川勝義君） 絡みのちょっとええですか。

○委員長（原田素代君） まだいいですか。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 絡みの中で言うのは、今岡崎さんが言うたこと言よんのは、内容までというのは大体わかりよんじゃけど、聞くんですよ、市民のほうを知っとって。これがあるんじゃろうって聞かれたら、今度のははあというて、こういう話になるんで、ぜひそういうことを親切というんかな、特に関連の委員会のとこだけはせめて、議員として我々が知っとくんが、別に産業建設じゃけん特産品だけやれえというんじゃねえ、全部じゃからな、やっぱり。そういうのはちょっと今そう思うたんで、それについて全体で答えてもらって。

○委員長（原田素代君） どうされますか、執行部、どなたに。

○副市長（内田慶史君） はい。

○委員長（原田素代君） じゃあ、副市長お願いします。

○副市長（内田慶史君） 各委員さんから御指摘がございましたけど、その点、今後十分なる対応をしてみたいというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

○委員（北川勝義君） パンフレットかなんか来てなかったかな。

○委員長（原田素代君） 来てます。人権と、あと自治連合会の研修会についても来ました、初めて。だから、来るものは来るんですけど。だから、その辺を、主催者の判断があるんでしょから、そちらで判断していただくんでしょけど。案内があるのとないのがあるんで。

○委員（北川勝義君） 12月の行っとろう、自治連合会。

○委員長（原田素代君） 来てました。初めて来ました。どっかの大学の先生。

どうぞ、市長。

○市長（友實武則君） 濟いませぬ。御案内ですけども、12月7日の人権を考える集いというのは、こういうパンフレットを関係の常任のほうにはお配りさせていただいてると思うんです。

それから、赤磐産品についてはこれちょっと確認とれておりませんが、写しを配付させていただくようにいたしますので、御理解よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（原田素代君） 今、北川委員から御指摘があったんですけど、14日に自治連合会の全体研修会の御案内も来ておりますが、全員には届いてますよね。全議員に届いてるんですよ。委員会に特別ってことじゃなくて。

○委員（北川勝義君） ちょっともう一個。

○委員長（原田素代君） これの中身を。

○委員（北川勝義君） 中身わかりゃえんじゃけど、全体じゃけ、わからなんたらえんじゃけど。どっちかわかりゃええわ。主催者じゃねえけえ。

○委員長（原田素代君） そうですね。

はい、どうぞ御自分で、北川委員、御意見を。

○委員（北川勝義君） 実は、これ絡みで1つ言わせてください。これもうその他で言おうと思った、日程じゃえんですけど。やっぱり執行部がどう考えとんか知らんのじゃけど、この間の鳥獣被害の美作市へ行くときに、鳥獣被害に本当に本気でやりようる、名前出したら行本さんが本気でやりよって、絶対行きてえという話からずっと言よって、どねえかならんかな1人ぐれえというたら、出席させていただくようにしたんですよ。これはえんですよ、バスが乗れたから。

そしたら、今度はそのときに言わずに、来たら、もう朝、議員が全員に出したというて議員が来とるわけ、何人も。やっぱりこれ先に、来たんがおえんとかという話じゃのうて、言うたらこういうことをしますというのをやっぱり通知しとってほしいと思ったわけ。

それ言ったら、ああじゃ、こうじゃ、わけのわからん議員にわけのわからんというて、もうええというて言ったん、もう話しするんが大儀なかったから、職員との話が。見てくれるんで、議員さんが見聞を広めたということは物すげええこっちゃからえんですよ。行くんじゃったら、もしこれ仮にその事業でやりよって、バスに乗れなんだとしたりしたら、わかるでしょ、言よること。

それからもう一個は、今度はこの事業でしとるバスへ便乗して議員が乗るんじゃったら、例えば言うたら、どう言うてえんかな、傍聴する人が視察するけん、視察しますが、そこへ、例えばどっかへ。なら傍聴の人が、わしも空いとんじゃけん、乗せてくれというて物すごい関心があったとか、区長で関係ある人が乗られるんじゃったら1人ぐれえもしあつたらえんじゃけど、おえんの。5人おつたら5人全部、バス仕立てでしちゃらにやおえんになった、その中へ乗りゃ人件費の、金のことを言よるわけなんで、僕、厳密なこと。

じゃから、やっぱりもし、今回の悪かった言よんじゃのうて、澤さんみてえに車で一人で来られた方もおるし、僕はえかったと思うんじゃけど、ただ一つ、やる前にやこういうことになるんでというて、やっぱり事務局とか一言言うてもらわなんたらいけんのじゃねえかなというのを、ちょっとこれが今まで思うたんが1点。それは今後気をつけてくださると思うんじゃ

けど、この流れと一緒にすることで。

それでもう一個が、ちょっと全然関係ねえ話、日程にねえって、またその他ということでもう先言わせてください、1個だけ。

太陽光のことを今、産業建設でやられて、それから総務文教でちょっとやる、やらんじゃというて何かやられたんです。というのが、何を言わんとしとるというたら、総務ではこうやらせてくれえと、この説明をさせてくれえ言うと思ったんが、産建で余りようなかったからもうやらんからというて、そねえな委員会の軽視というたりすることがあるんで、もしそういうことがあるんじやったら当日の日じゃのうて、きょうが委員会としましょう、当日じゃのうて、前日でも言うてもらわにや話がおかしゅうなるんで、そういうことと。

これからあれぜひ議運が出しやばれとかという話になるかとじゃねえよ、じゃねんじゃけど、議長、副議長が中心になってくれてもえんじゃけど、担当の関係ある仕事ですな、例えば言うたら。今、太陽光というたら説明することはねえけど、太陽光をするのは産業建設委員会の、それで今度は学校の建物を借るというたら総務文教委員会、じゃからやっぱりそうなったときは、例えば厚生の場所もあってもええわ、例えば水力発電、皆あったりしてからやるとしたら、そのときぐれえは議長、副議長とか議運が、わからんの、議運開けというんじゃねんじゃけど、せめて誰かの関係でその担当委員長ぐれえ寄してもろうて、こういうことじゃというの一遍先に説明を、説明というんか調整というんか、してもらいてえ。

これ議運がせえとかどうかわからん、それ今言わんとしよること。議運を開けというんじや、議運じゃねんよ。

○委員長（原田素代君） わかりました。ちょっとじゃあ、事務局か議長のほうに……。

○委員（北川勝義君） ちょっと今そのことを。

○委員長（原田素代君） 今の2点について……。

○委員（北川勝義君） いや、2点じゃ、今のだけでええ。最初のはもう別にぼっけえねえけ。

○委員長（原田素代君） じゃあ、小田議長のほうから。

○議長（小田百合子君） そうですね。やはり何も知らずに後でごたごたしたっていう経過もありますし、私自身にも入ってなかったんで、やはり事前に今度の委員会はどこにこういうものを出すっていうのを少し説明しておいていただいたら問題なかったと思うんですよ。ですから、その件に関しては執行部のほうにこれからはきちんとしてくださいということを申し入れました。

できれば、そういうときに私が先に知っておれば担当の委員長などと先に相談して物事がスムーズにいくようになったと思うんですけども、これからはそういうことがないようにすることでしたので、今後はよろしくお願いします。

○委員長（原田素代君） そのことで補足があれば、今の、いいんですか。



ちょっと待って。執行部のほうからは特別ないですか。一応議長とそういうお話がされたということでよろしいんですね、執行部のほうも。承知されてますね。はい、わかりました。

じゃあ、はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） そうしてもらやえんで、別に議運でやるか何かじゃねんじゃけど、何かわかったほうがちょっと……。

○委員長（原田素代君） 議会運営上のことですから……。

○委員（北川勝義君） そういつてから後からトラブルでというたら、縄張り争いじゃねんじゃけど、原田さんとは知っとしてこっちは知らん、わしゃ知らんでと、例えば私は知らんというてこっち、こういうけんかにならんほうが事業を進めていくことじゃから協力すりゃ全員一致でやるんがえんじゃねえかなと思うたんで。ぜひ議長の言われたようにしてください。

○委員長（原田素代君） ちょっと私は鳥獣害視察は案内来ましたよね、全議員に。だから、それはいいじゃないですか。全議員にしてるということで。

○委員（北川勝義君） 違う違う。

○委員長（原田素代君） 全議員にすることがおかしいということ。

○委員（北川勝義君） ちょ、ちょ、ちょっと今説明したら……。

○委員長（原田素代君） その議論はまた別になるんだけど。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、違う、そうじゃのうて。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員、どうぞ。

○委員（北川勝義君） 鳥獣のやっていく、研修のその委員会ですわ、組織じゃから。友實市長が会長でやりょんじゃから。その中へ、議員でいうたら金谷さんと僕と治徳さん、3人が委員になっとんじゃ。

○委員長（原田素代君） 入ってらっしゃる。

○委員（北川勝義君） あとは入ってねんですよ。

せえで、たまたまその日が議運かなんかあったとき、何か全協があったときじゃって、行本さんが見よったら、何ならというて、ほんなら聞いてみるって、市長とか部長に聞いてくださいと、もしバスじゃけん、この人は本気でやりようるから、もう一人でも見に行きてえというあれじゃったから、じゃったらどんなかな、乗れるんじゃったら聞いてみりゃええがなという話で。

そしたら、弁当は自分で出してくださいと、当然じゃが。せえで、バスじゃから乗れるから行っていただけりゃええという話じゃって、それで僕は行本さんがそう言よったでだけ言うて、行本さんは、わしゃ行くんじゃというて話、それでえかったんですよ。

それは特別扱いかもしれんけど、物すげえ関心持っとる人がおりますが。これは一つえかった、そりゃ物すげえ配慮して下さったで感謝しとん。じゃけど、今度は議員さんに、僕らに言うてなかったというの、言うたの、もうどうしてなったというの、ほんじゃあ全員の議員す

るんなら全員の議員でもえんですよ。

これはこっちの組織のあれじゃから、このお金を使うていきょんじゃから、もし乗れんとか、例えばの話がそんな話が出ますが、乗る、乗れんの。お茶の一本でも全部出しよったわけじゃから。議会費のほうで出しちゃりゃえんじゃから。

そういうなんもおかしいし、出すんじゃったら別な扱いすべきじゃと思うとるし、それからもしやったら前もって言よったとことか、みんなの関係の人へ連絡ぐれえはなけりゃおえんのじゃねえかと。

せえで、この3通のことをはっきり言わせてもらやあ、通知がたしかあれがあったときですわ、中央公民館で……。

○委員長（原田素代君） 直近でしたね、案内が。

○委員（北川勝義君） おう、中央公民館で何かあったでしょ、何じゃったかな、遺族大会か。遺族大会があった日に、金谷さんも来られとった、僕も来とった、それから治徳さんも来られた、この3人は。ほんなら、僕だけ来るからってポスト入れてある、トレーへ、入れとったな。あとの金谷さん、治徳さんは来る予定がねえから、治徳さん、金谷さんに手紙で送つとるわけ。

○委員長（原田素代君） みんな来てました。

○委員（北川勝義君） いや、違う、みんなじゃねえ、みんなのその以前の話。

○委員長（原田素代君） ああ、その後ね。

○委員（北川勝義君） せえで、そのことも憤慨して、大事な日にちのことあるんじゃから、やっぱり、どういうんかな、普通に会議のことじゃたらいいですが、もう文書で何か何々するけん、遊びましようというたりすることじゃたらトレー入れとつてもえんじゃ、とりに来りゃ。

じゃけど、もう大事なことなら事前にやっぱりそれは、同じ委員じゃから同じように通知を出してもらいてえと思うたわけ。例えば、農協じゃけえ、農協へぼんとしたけえええでという、そういうことがあってしたんで、ぜひ今度はトレーの使い方もあつたりいろいろあるんじゃけど、やってもらいてんと。

知らん者、関係ねえ人が見たら、ほんなら僕ら、例えばどこのよその産業で、ほんなら今あるけん、産業振興のやっていきょんで直売所でも見に行くというたら、金谷さん物すげえ関心があるけえ、金谷さんが委員になつとるわな、絶対。なつとろう、今。ほんなら僕が行かせてくれえというて行くというわけにいかんが、メンバーじゃなかつたらな。

○委員長（原田素代君） ちょっとその辺の経緯を、じゃあ事務局長、どういう経緯だったのか。

○委員（北川勝義君） まあ、今後気をつけてもらやえんじゃけどな。

○委員長（原田素代君） 判断が。

○議会事務局長（富山義昭君） 申しわけございません。事務局のほうできちんとそのあたりの把握ができておりませんで、今後気をつけたいと思います。

例えば、今回のこの行事予定の案でございますが、先ほど委員の皆さんからもお話がございました14日土曜日、13時30分からの赤磐市自治連合会の全体研修会、御案内が行ってるということなんですが、事務局のほうで把握できておりません。本来であれば、議会の予定の中に入っておかなければいけないということもございます。そういうようなことございます。

それも含めて、この議運で話をしていただいたら、この午後の全員協議会のほうではこの日程を出しますが、その中には改めて議会の日程の中にも自治連研修会を入れさせていただきたいと思います。

それから、先ほど執行部のほうでお話のありました12月1日の即売会のことも今後議会のほうへ御案内いただけるということであれば議会の行事予定にも入れさせていただこうと思います。

先ほどの美作への視察の件も、議会事務局で十分把握できてないということから議長への報告、その他がおくれている部分も、できなかった部分もございますので、今後議会事務局としてより一層そのあたりに注目して、漏れのないようにしたいと思いますので、今回は鳥獣の関係の把握できていなかったお断りと、それからこの日程一つ見ましても十分でない、執行部との連携がいまいちできてなかったという結果、こう出ておりますので、今後は十分気をつけたいと思いますし、早速この後の全協では日程に入れるような段取りをさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（原田素代君） 説明がありました。

ちょっと執行部との連携の問題だと思うので、基本的に議員に対する御案内や通知は事務局を通すということを徹底していただくように、まずお願いして、そこをしてください。

○委員（北川勝義君） わかりました。今後気をつけてもらやええわ。

委員長、ちょっとええかな。

○委員長（原田素代君） ちょっと待つて。

よろしいですか。

違う、執行部に同意を求めているんです。そのように改善していただきたいんですけど、よろしいですか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） じゃあ、北川委員。

○委員（北川勝義君） 委員長、僕が言うたことなんじゃけど、14日の自治連合会は全体研修会の自治連合会がしたんで一緒のええ先生が、ええも悪いもしたら講師来んと思うけど、ええ先生が来られるから、議員の皆さんも聞いていただけりゃ、一緒に参加したらどうですかという御案内があったぐれえじゃと思うんで、こっちへ載すのはちょっと、今言われたのはちょっと

とおかしいよなと思うて。

○委員長（原田素代君） でも、そうなったらそういうばらつきが前提にならないようにしたいわけですから。

○委員（北川勝義君） ちょっと言います。

じゃから、それは僕の言いたかったの、最後まで言う。もしやるんじやったら議長さんのほうへ、議長さんこういうことがありますんで議員さんも参加してくださいとかというぐれえな来たらここへ上げるべきじゃと思う。

○委員長（原田素代君） 何かそこを決めないで。

○委員（北川勝義君） そのの。

それで、1つまだ気になって言った、1日のことや、すぐなんじやけど、赤磐の特産品の、これはもう僕がこんなこと言っちゃおえんけど、産業のほうにも、それから商工会のほうにもよう言うてもろうて、議長とか委員長には出席してくれえとかな、何でもええ、何か呼んだほうが僕はえんじやねえかと思うて。

前のときには、昔あそこでしたときにや来てくれというて行ったことがあるんじや。

○委員長（原田素代君） 私も行ったことある。

○委員（北川勝義君） じゃけ、どうも呼ばれるときと呼ばれんときあるんで、これだけは何か……。

○委員長（原田素代君） 担当者がかわったのかもしれないから、そこはきちっとしてください。

○委員（北川勝義君） いや、向こうが呼ばなんたらおえんけんな。

○委員長（原田素代君） そう、だから向こうの担当者変わってる可能性もありますけど、そこは今北川委員のおっしゃったように、議長を通すなり、とにかく事務局のほうで把握をした上でということで、来た方と来ない方という、議員の中でも対応が変わるということは避けるようお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

○委員（福木京子君） ちょっとごめん。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（福木京子君） 確認なんじやけど。

○委員長（原田素代君） はい、福木委員。

○委員（福木京子君） だから、議会行事のところには14日は入れる必要はないんじゃないかと。

○委員（北川勝義君） そうそう。

○委員（福木京子君） だから、口頭で皆に知らせとんじやから、それでええんじやない。

○委員長（原田素代君） 口頭じゃない。

○委員（北川勝義君） 文書で。

○委員（福木京子君） 文書の中、ここへ書いたら議会の行事の……。

○委員長（原田素代君） いや、議会に入っていないから。

○委員（福木京子君） だから、せえでえんじゃね。これで。

○委員（北川勝義君） 議長に頼みに来た、議長にお願いして議長、副議長が判断して入れましょうというときでええがなという話をした。

○委員長（原田素代君） はい、議長。

○議長（小田百合子君） 例えば、この下にある12月行事予定表で、お祭りとか地区のこととかいろいろ入ってますよね。

○委員長（原田素代君） その辺の扱いだよね。

○議長（小田百合子君） 議員も参加できるのであればここに載せるということも……。

○委員（北川勝義君） かえってこっちのほうがええかもしれんな。

○議長（小田百合子君） うん。議会行事という……。

○委員（北川勝義君） こっちへ入ったら、ここはちょっとおかしかろうでな。

○議長（小田百合子君） 行かなきゃいけないということにもなるんで。

○委員長（原田素代君） 関連、議会との関連ってということになりますよね。

○議長（小田百合子君） はい。またそこは……。

○委員（北川勝義君） 逆にな。

○議長（小田百合子君） うん。

○委員（北川勝義君） 駐車場捉えて、議員駐車場じゃとか、議員、そねえな要らんで、せえな。

○議長（小田百合子君） そうそう。

○委員（北川勝義君） そのほうがええな。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） 改めて議長とよく相談して、そのあたりの日程は載せていく判断をさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、ちょ、ちょっとその辺もちょっとええかな、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） そねえ難しゅう言わんでも済ましゃええが。皆さんもそう言ようるし、議長もそうしてくれ言よんじゃけ。こっちのところで書いときさえすりゃ。そう表へ書くじやのうて、それがあらかじめ……。

○委員長（原田素代君） 自治連合会のほうが……。

○委員（北川勝義君） 連合会のほうが皆来られて、議長、副議長にぜひ議員さん、出てくださいと、こういう話でも持ってきたらこれ表へ行きゃええけど、そうじゃねんじゃから、えんじゃねえかと思うで。

○委員長（原田素代君） これで、じゃあ……。

○委員（北川勝義君） 決めとこや、後でそうなるというの。

○議会事務局長（富山義昭君） わかりました。

それでは、12月の行事予定の中に書かせていただくということで、この後の議運、全協のほうにはお知らせする段取りにさせていただきますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○委員長（原田素代君） ありがとうございました。

行事予定、議会と執行部のほうについての質疑を受けておりますが、その他でまだありましたらお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、そうしましたら、協議事項の2番目に移ります。

平成25年12月第5回赤磐市議会定例会の会期、日程及び議会運営について、事務局のほうからの説明をお願いします。

○議会事務局長（富山義昭君） 失礼いたします。

それでは、お手元の資料3ページをごらんください。

平成25年12月第5回赤磐市議会定例会会期日程表（案）でございます。

本日のこの議会運営委員会で決定いただくわけでございますが、まず日程第1日、11月29日金曜日、午前10時から本会議を議場で開会予定であります。

会議録署名議員の指名につきましては、8番金谷文則議員、9番行本恭庸議員にお願いいたします。

会期の決定につきましては、11月29日から12月19日までの21日間の予定でございます。

諸般の報告に続きまして、岡山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行います。この資料の4ページのところに添付しております。

ごらんいただきますと、岡山県後期高齢者医療広域連合議会選挙の候補者についての通知でございますが、市議会議員の区分の広域連合議会議員の補欠選挙を行うものでございます。選挙すべき1人に対して立候補が2人となっております。

この選挙は、岡山県後期高齢者医療広域連合規約第8条第4項の規定によって、岡山県内の全ての市議会の選挙における得票総数により当選人を決定することになります。したがって、赤磐市議会会議規則第32条の規程に基づく選挙結果の報告のうち、当選人の報告及び当選人への告知というのはいけません。県内全ての市議会の選挙ということですので、赤磐市だけで決まることではありませんが、選挙結果の報告につきましては、有効投票のうち候補者の得票数までを報告するということになります。

なお、定例会本会議では候補者の推薦も含めて発言というのは、選挙でございますので発言はできませんので、発言等がある場合は別の場所で個々にお問い合わせということになろうかと

思います。

3 ページの日程のほうに戻っていただきたいと思いますが、選挙に続きまして議案の上程となります。このたびの議案は、専決処分の承認案件が 1 件、条例案件が 12 件、予算案件 8 件、その他案件 6 件、計 27 件ということであります。

平成 25 年度赤磐市一般会計補正予算（第 3 号）につきましても、専決処分の承認を求めるものでありますので、本会議場で直ちに質疑を行った後、委員会付託を省略して討論、採決を行う予定であります。

以下、条例案件 12 件のうち、赤磐市事務分掌条例の一部を改正する条例と、赤磐市税条例の一部を改正する条例、それから 1 つ後の赤磐市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例、この 3 件は総務文教常任委員会に委員会付託を行います。

赤磐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例と赤磐市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例、及び赤磐市国民健康保険診療所条例、この 3 件は厚生常任委員会に委員会付託を行います。

赤磐市吉井浄化センターにおける合併浄化槽汚泥の処理に関する条例の一部を改正する条例から赤磐市水道条例の一部を改正する条例までの 6 件につきましても産業建設常任委員会に委員会付託を行います。

続きまして、地域活動支援センターさんよりの指定管理者の指定については厚生常任委員会に委員会付託でございます。

アグリの指定管理者の指定についてから、リポート吉井の指定管理者の指定についてまでの 4 件については産業建設常任委員会に委員会付託を行うものでございます。

予算案件、平成 25 年度赤磐市一般会計補正予算（第 4 号）から平成 25 年度赤磐市立赤磐市民病院事業会計補正予算（第 1 号）までの 8 件につきましても、それぞれの常任委員会へ付託ということでございます。

一番最後の平成 25 年度赤磐市水道事業会計資本金の額の減少については産業建設常任委員会に委員会付託を行います。

なお、この日、11 月 29 日は質疑通告の受け付け開始になっております。

続きまして、11 月 30 日土曜日から 3 日間は休会ですが、12 月 2 日月曜日は予備日となっております。

12 月 3 日火曜日は午前 10 時から本会議、一般質問でございます。この日が質疑通告の締め切り 17 時ということでございます。

4 日水曜日、この日も午前 10 時から本会議、一般質問の 2 日目でございます。

5 日木曜日は予備日となっておりますが、一般質問には 14 名の方から提出がございました。この 14 名の質問者の割り振りにつきましても、この後御協議をお願いしたいと思います。

6 日金曜日は午前 10 時から本会議、質疑でございます。質疑終了後、議案の委員会付託を行

います。請願につきましても上程後、委員会付託を予定しております。

別添の請願、陳情文書表をごらんください。

請願、陳情とも各1件が提出されております。まず、請願につきましては、請願第5号ですが、平成25年11月12日に持参されました。件名は、T P P 交渉に関する請願書です。請願者は岡山市東区瀬戸町光明谷195、岡山東農業協同組合代表理事組合長の長田謙二様です。紹介議員は北川勝義議員で、付託委員会は産業建設常任委員会となります。

続きまして、陳情ですが、平成25年11月13日に持参されました。件名は陳情書となっておりますが、内容は小学校の学級数をふやすことを求めるものでございます。陳情者は桜が丘西7-15-19、井場栄子様外1名です。

陳情の取り扱いにつきましては、申し合わせ事項によりまして議員の皆様へ写しを配付することになっておりますので添付しております。ごらんいただきたいと思います。

再び会期日程表のほうへ戻っていただきまして、3ページの日程表、12月7日土曜日、8日曜日は休会。9日月曜日は予備日ということでございますが、10日火曜日から各委員会が始まります。10日火曜日、午前10時から産業建設常任委員会、11日水曜日、午前10時から総務文教常任委員会、12日木曜日、午前10時から厚生常任委員会です。この12日は討論通告の受け付け開始の日でもございます。

13日金曜日は予備日。

14日土曜日から18日水曜日までの5日間は休会ですが、16日月曜日の午前10時から議会基本条例特別委員会が開催されます。

18日水曜日は17時が討論通告の締め切りとなっております。

12月19日木曜日、午前10時から本会議、定例会最終日となります。委員長報告、質疑、討論、採決を行います。なお、請願が採択された場合には意見書等の発議をお願いする予定でございます。

最後に、委員会の閉会中の継続調査及び審査について議長から発議を行い、12月議会の日程が終了の予定でございます。

以上が現在予定されております12月議会の議事日程（案）です。よろしくお願ひいたします。

○委員長（原田素代君） ありがとうございます。

今の議事日程についての質疑を、ございましたらお願いします。

よろしいですか。

○委員（北川勝義君） ええですか。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 別にえんじゃけど、一般質問なんじゃけど、14人……。

○委員長（原田素代君） それはこれからします。



○委員（北川勝義君） あ、これから。へえ、済いません。

○委員長（原田素代君） じゃあ、質疑がないようでしたら、一般質問について添付させていただきますのでごらんください。

14人の方が提出されておりますが、いかが取り扱いますでしょうか。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） できるのかな、7、7で2日でできるのかな。そのこと今ちょっと思うて、できりゃ。

○委員長（原田素代君） それを……。

○委員（北川勝義君） できりゃ7、7でえんじゃけど、もしあれじゃったら予備日というて。予備日の前じゃけん。

○委員長（原田素代君） 従来的には半分という……。

○委員（北川勝義君） 何ぼでいきよったかな、7人。

○議会事務局長（富山義昭君） 8人まで。

○委員（北川勝義君） 8人までいっとったんかな。ほんなら7、7でいかにやしゃあねえわな。

○委員長（原田素代君） 福木さんが最後になりましたね。

○委員（北川勝義君） 7、7でいかなんだら。

○委員（福木京子君） もう疲れてしもうとる。

○委員長（原田素代君） いや、みんなそうですよ。

○委員（北川勝義君） 7、7でいかにやおえん。

○委員長（原田素代君） よろしいですか。今、北川委員のほうから7人、7人で割りましょうということ。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） そうしましたら、じゃあ7番目の福木さんが最後で、8番目が治徳さん。

○委員（北川勝義君） ちょっと要らんこと言う、あれはもう絶対もうそれを決めとかにやおえんわな。決まりでせなんだら、早う終わって4時ごろになったけん次のも行けえというていうたら、準備ができてねえんがあるけん……。

○委員長（原田素代君） それはちょっと酷ですね。

○委員（北川勝義君） なあ、じゃからもう決めて、8人まで、半分というんか。

○委員長（原田素代君） 初日はとにかく7人で終わり。

○委員（北川勝義君） 半々でええですが。8人というたら。

○委員長（原田素代君） とにかく福木さんが最後で、丸山さんは2日目の頭ということ。

○委員（北川勝義君） 8人はきつかり。7人が限度じゃと思う。

○委員長（原田素代君） そうしましたら、じゃあ7、7で進行を進めていただくことになり  
ます。

そうしましたら、次4番目の議会報告会のことについての取り計らいをお願いしたいと思  
いますが、事務局のほうからお願いできますか。

○議会事務局長（富山義昭君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） お手元に資料がたくさんございます。一番下から2枚目のと  
ころにA4の横で班編成（案）というのをつけておるとお思いますので、そちらのほうをごらん  
いただきたいと思います。さき、今月開かれました各委員会でそれぞれの委員会、6人の委  
員さんを2人ずつの3つのグループに分けていただきました。それがその表の下にございま  
す。各委員会決定いただいております。

これをもとに、改めて3つの班に分けるわけでございますが、基本条例の特別委員会の中  
でもある程度お話をいただいております条件を少し加味いたしました。つまり、各委員会の委員  
長、副委員長は基本的に分けるようにしましょう。あるいは、議長、副議長も分けるようにし  
ましょうということ。それから、各班に基本条例の委員さんが2人は入るようにしましょうと  
いうこと。それから、極力地域性が偏らないように、一つの班の中に、例えば全て山陽の議員  
さんだったというふうなことのないというふうなことでございます。

ということから、今そこに班編成（案）とございますが、まず上から3つの段をつくりまし  
た。それぞれの段で総務委員長、厚生委員長、産業建設それぞれの常任委員長が入ってる2人  
のグループをそこに並べました。

それ以下、先ほど言いましたように議長と副議長が同じ班にならないようにとかというふう  
なこと、あるいはそれぞれのところに副委員長が重ならないとかということになりますと、事  
務局のほうでいろいろ考えてこの組み合わせ以外にはなかなかないのかなというふうなことで  
ございます。

改めて見ていただきますと、上から北川議員、佐々木議員、丸山議員、行本議員、小田議  
員、治徳議員が一つの班になるということでございます。

2つ目の班は、福木議員、実盛議員、保田議員、岡崎議員、下山議員、光成議員が一つの班  
ということでございます。

それから、3つ目の班が、金谷議員、山下議員、松田議員、澤議員、佐藤議員、原田議員が  
一つの班と、この3つの班編成というのが今言いました条件をある程度加味するとういう形  
かなということになったということでございます。お含みおきをいただいて御協議いただい  
て、この場で決定をいただければと思います。

○委員長（原田素代君） じっくり眺めていただいて、一応この議運でこの班編成を決定させ

ていただくという段取りですので、皆さんのほうから御意見があればお願いします。

○委員（北川勝義君） まあ、言うてええかな。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 今言よる考え方が、委員長、副委員長分かれるとか、それから議会基本条例が分かれるということで原則地域偏らんということここまでやられとんじゃから、とりあえずやってみりゃええが、これで。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（北川勝義君） ええ、悪いもあつたりするんじゃけど、言い出したらもうみんなが終わらんけ。そうしましょうや。ぜひお願いは、いつごろやるんじゃろうかというのちょっと、その予定だけ。3月も、いやいや、笑よるけど、3月までにはせにゃおえんのじゃろ。

○委員長（原田素代君） 今後について、じゃあ局長のほうから。

○副議長（岡崎達義君） 基本はそうやけど、そこらあたりは。

○委員（北川勝義君） 違う、どうせここへあるが。基本条例16日するが。じゃけ、委員会するけ、委員会に口挟むんじゃねえけど、やっぱりせにゃおえんじゃったら。

○委員長（原田素代君） いや、この後あるもんですから、ちょっと局長のほうで、この後の流れを。

○委員（北川勝義君） いや、3月でも何かするんじゃったらしとかにゃ、どんな。そねえ言よつたろ。

○議会事務局長（富山義昭君） 委員長。

○委員長（原田素代君） 進めますので。

○議会事務局長（富山義昭君） この班をまずこの会で決めていただきました。もう一つは、今北川委員からもございましたいつやるのかという時期のこともおおむね、具体的な日にちは別として、おおむねの時期もここで御協議をいただいときたいと思うんですが、実は事務局のほうとしまして、今年度中ということになりますと当然来年の3月までのいずれかの機会ということですが、3月はもう3月の定例議会……。

○委員長（原田素代君） ごめんなさい、局長。それはその全協の後の班会議でやるということ。

○議会事務局長（富山義昭君） いえ、議会運営委員会でおおむねいつごろするかということの……。

○委員長（原田素代君） その議論をここでするんですか。

○議会事務局長（富山義昭君） ざっと決めておいていただくというのが、この議会運営委員会の中で。そのことを少し説明させてください。

○委員長（原田素代君） じゃあ、はい、局長、どうぞ。

○議会事務局長（富山義昭君） ということで、おおむねじゃあこの年度のいつごろしようと



これが議会基本条例の中で、確かに3月までにやるという言うところから、これが3月じゃのうて4月でもええとかというふうにできるんじゃないたら僕はえんじゃないけど、3月というたら議会があるが、当初予算もあって。今言われよることようわかっるとる、周知のこともある。そんなことわかっるとる。

じゃあから、あえて僕発言しよん。別にしょうとすまあとえんじゃないけど、委員長に言うたら悪いんじゃないけど、できるんかということ、延ばしてもえんかという、これ法的、そのことを、それだけ。それが……。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○委員（北川勝義君） 5月でもえんじゃないたらもう……。

○委員長（原田素代君） そうですね。

○委員（北川勝義君） 何とも考えが。

○委員長（原田素代君） 確認ですね。

○委員（北川勝義君） それだけ聞きたい。

○委員長（原田素代君） 局長、ちょっとさっき私何度も言ったように、後でその詰めをするので、きょうはこの班編成だけ確認させていただいて、あとこの全協が終わった後に班長会議でこういう議論しましたということだけ報告していただきたいと思います。

だから、ここでは時期のことはちょっと棚上げです。そういうふうに御理解ください。

○委員（北川勝義君） いや、じゃけそれ聞いてもらわなんだから。3月までに絶対せにゃおえんのじゃたらな。

○委員長（原田素代君） じゃあもう……。

○議会事務局長（富山義昭君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） ちょっと待ってください。

もう一度いいます。

一応委員長のほうでは、議長と確認しているのは、きょうのこの議運の中では各委員会で3つのグループを決めていただいたこと。それで、きょうはこの3つの班を皆さんで御了解いただいたことできょうの議運は終わります。

この後、全協に移って、この報告をして、その後、全協の後に班長会議を開きます、きょうじゅうに。そこで日程の……。いや、ですからこれの議会報告会を進めるのは要綱に従って班長会議が進めます。それは要綱会議にうたってますので。

○委員（北川勝義君） そんなこと。

○委員長（原田素代君） 班長会議の中で時期を確認することにしておりますので、そういう流れがあるということを御理解ください。

ですから、その話を含めて班長会議の中で日程を詰める予定にしております。ですから、きょうこの場では班の了承だけお願いします。

○委員（北川勝義君） ちょっと委員長。

○委員長（原田素代君） はい、どうぞ。

○委員（北川勝義君） 僕は議長に申し上げとんじゃけど、きょう昼からの全協は欠席させていただくということを……。

○委員長（原田素代君） ああそうですか。

○委員（北川勝義君） 言うとんですよ。せえで、それはえんじゃけど、僕が言いたかったの、ちょっとくでえ、また委員長理解しとらん、しとんかもしれん、してねえの、僕は聞いて理解で、3月までにこれをやりますよというのを決めて去年の1月から動いてきたから、今12月でこれでやっど何遍もやってできたん、これでえんじゃけど、議員は全体的にこの3月までに僕はやらにやいけんのんかなと思うて。

それが話ん中で議会基本条例の委員中での話をできたり、議長とも入れて話ができりゃこういう情勢があるんで、今これが6月とか言よったらおえんのんで。今の情勢じゃから、3月議会があるから、周知もあるから、局長が言われたんが、その中のメンバーで決めて議長と話ができるんじゃったら4月でも5月でもええとかというんじゃたらそう難しゅうのうて、今岡崎さんが言うたきょうでものうても、また日にち変えてもできるふうになるんじゃねえかと思うんです。

それはだめなんじゃと、3月にならにや、今言よる班長会議も決まっどんですよって、そういう……。

○委員長（原田素代君） いや……。

○委員（北川勝義君） ちょ、ちょっと、言う、いつまでができるかだけ、ちょっとそのことだけをもうちょい説明、無理か、それだけしてくれて、3月までにせにやおえんのじゃたらそりゃせにやおえんし、いや、話でできるんじゃというんじゃたら議長と話をさせてもらええ。そこだけ聞かせて。それが一番大事。

僕は個人的に言うたら、議会の流れよ、個人的には議会の流れでいうたら、はっきり3月いっぱいこのするということは不可能なし、寒いときで、それでのうても人が来んのに、赤磐市やってみた、どさくさの年度末にやってみたら来たのは8人ほどじゃったとか例え言われて、言うから、どうせするんやったら周知して人間さんが多いほうがええんかなとは思たんですよ。

○委員長（原田素代君） わかりました。

そのことも含めて班長会議のほうでそこを決めると。議運ではちょっと決められないので、その確認をこれからします。

○議長（小田百合子君） はい、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、議長、どうぞ。

○議長（小田百合子君） 要するに、今はここで決めていただいたこの班編成、これをこのま

ま全協で報告します。そして、班長会議、班長会議と言われてるけども、班長会議の前に同じ班になった人たちが全協の後、集まってもらって、そこでまず班長、副班長を決めていただかないと、班長会議はそれより後に……。

○委員長（原田素代君） もちろんそうです。

○議長（小田百合子君） なるんです。

○委員長（原田素代君） いや、だから、後っていうのはきょうやるってことですよね。

○委員（松田 勲君） 班長会議をやるというのきょう初めて聞いた。

○委員長（原田素代君） 私もきょう初めて聞きました。

○委員（北川勝義君） わしら知らんもんじゃから、あんたらが知っとるだけ、全然せえなこと知らんもん。

○議長（小田百合子君） それを今議運で……。

○委員長（原田素代君） だから、その点だけ。

○議長（小田百合子君） これでよろしいかと言ってるわけです。

○委員（北川勝義君） これでよろしいかってやってやりゃええがな。せえで、その後またするんじやったら、時期がいつかだけ。

○委員長（原田素代君） そうです。だから、それはこれから決めます、時期については。

○委員（北川勝義君） 委員長、暫時休憩しようや。

○委員長（原田素代君） いや、休憩するほどのこともないんですけど。

○委員（北川勝義君） ちょっと暫時休憩させて。

○委員長（原田素代君） ああ、そうですか。

岡崎委員、別に休憩しなくてもいいでしょ。

どうぞ、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） いや、だから、よろしい。

○委員（福木京子君） とにかく休憩にしたら。

○委員長（原田素代君） 休憩する。

じゃあ、休憩します。暫時休憩。

午前10時50分 休憩

午前10時52分 再開

○委員長（原田素代君） 再開します。

じゃあ、それぞれのほうから、時期の議論になりますので。

はい、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） やはりタイトになってしまいますので、2月っていうことになると宣伝っていう部分もありますので、なかなか難しい。それで、内容もある程度吟味した上で原稿もつくとだめです。なのでなかなか難しいんじゃないかと。3月は議会があるからちよっ

と難しい。

そうすると、直近といいますともう4月にしかできない。もう4月、今年度中っていうふうになってたんですけど、そこはお許しいただいて、来年度になって2回するというごことで皆さんの御了承を得られるかなと思ってます。よろしいですか。

○委員長（原田素代君） ほかにはいかがですか。

今4月という提案でした。

はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） 私も岡崎さんと同じで、ここで焦ってやったとしても、一番やっぱり最初が肝心だと思うんですよ。これずっこけたらほかの傍聴者も来なくなると思うんです。だから、きちっとするためにもやはり準備不足が一番怖いんで、本来は3月議会が終わって、それを含めてする目的でもあったんで、そのほうがいいんじゃないかなと。だから、4月ぐらいにできればということだと思います。

○委員長（原田素代君） ほかの皆さんのほうは。4月ごろかなというあれがありました。

どうぞ、保田委員。

○副委員長（保田 守君） 北川委員が言われたように、私も寒いのは人が集まらんとするんで、4月になって気候がよくなってのほうがいいと思います。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） もう基本条例の委員長が言われとる、副議長が言われるんで、今皆さんのメンバーが言われよんならそれでええと思うんで、ぜひ最初の1遍目が、僕はもう松田さんと同じ考えであって、最初の1遍目が失敗したらええことにならん。新聞が絶対取り上げるから。七、八人ばらばらと来とったんじゃ、ガス抜きをしたんじゃちょっと意味ねえと思うて。

やっぱりするからにはPR、局長言われたようにPRちょっとしてもろうて、広報でももうろうとったほうがええんじゃねえかと思うんです。

それでええことというのは、議会だよりが終わりますが、議会が終わりますが、3月議会が。

○委員長（原田素代君） いや、だからそれは12月議会で出さないとだめなんです。3月議会では間に合わないんです、4月は。

○委員（北川勝義君） 何。違う、違う、そうじゃねえ。3月が最終議会が終わるがんとするんで、3月の年度の。そしたら4月ぐれえにやりよったら、やったことがこういうことの1年間のまとめができるけん、4月20日とか25日ぐれえにやってもらや、5月になったらイベントがあるから、それと6月になったら議会じゃから、田植えもあつたりするから。それが一番ええんじゃねえかなと思う。

それで、ぜひ考え方、議運の委員長からも、委員長もメンバーじゃろうからお願いとして議



長とかこの委員会のほうへお願いしてえのは、今言うやり方がどういうやり方かわからんけど、年に2遍ほどするのがかえって考え方が4月ぐれえにして、おおむねで、アバウトで。4月にしてもう1回じゃというのちょっと決めてもろうたほうが。次も言よったら8月じゃとか、そのころにならんだら議会へ入ったりもういろいろ難しいと思うんじゃ、やれるとしても、時期的には。そこらちょっと。

せえで、今保田さんが言うた、ほんま寒いときには出てこんけん、人が、ほんまに。春らしゅうなったら夜でも来てくれるけん、そこらが一番ええかなと思うて。せえで、僕の考えみんな任せますんで、できたら期間を慌ててやってから取りとめにならんようにだけしてもらいてえと思うんで、お願いします。

○委員長（原田素代君） 御意見は、ほかの方よろしいですか。

はい、福木委員。

○委員（福木京子君） 賛成です。これでよろしいです。

○委員長（原田素代君） わかりました。

ちょっとじゃあ、私も1つ意見言いたいんですけど、私はもっとシビアに考えたほうがいいなと思ってたんです。要するに、基本条例に対する市民の期待もあって、皆さんが注目受ける中で、言ったことが実行できなかつたっていうのは厳しく私たちとしても反省しなきゃいけないなど。

もう最初から3月までにはやろうというふうに決めてたことですから、それが間に合わなかつたっていう現実についてはやっぱり私たちの力不足があったなと思っております。これは基本条例の特別委員会で議論することだと思いますが。

ただ、皆さんがおっしゃるように、前向きに、現実的に考えればそういう選択しかないというのも承知しますので、私も皆さんの意見に同意したいと思います。

じゃあ、それでは、班編成の確認及び時期を4月ごろをめどにという、この2点についてきょうの議運で確認させていただくということによろしいでしょうか。

○委員（松田 勲君） よろしいですか。

○委員長（原田素代君） はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） 全員協議会で一応これ発表するじゃないですか。きょうやることは班長、副班長を決める。

○委員長（原田素代君） 決めるところまでだそうです。

そうしましたら……。

○委員（北川勝義君） ちょっとよろしいか。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕はきょう休むんじゃけど、班長を誰が決めるとかとって、僕がおるときに決めてくれ。前もって言ってもらわにゃ、何でもその日、何か知った者もおった

というんじゃないけど、僕はきょう、今これのことは、これはわかるんじゃないけど、聞いたんで。日にちはちょっと……。

○委員長（原田素代君） そのことについては、じゃあ説明します。

○委員（北川勝義君） いや、説明というて、日にちはきょうするのは反対です。やってください。

○委員長（原田素代君） 局長のほうからちょっと説明お願いします。選ぶことについて。

○議会事務局長（富山義昭君） 全員協議会で班長、副班長を選ぶということですが、これも議会基本条例の特別委員会の中である程度話をさせていただいて、方法として最初の報告会ということなので、各班に2人以上の基本条例の特別委員会の委員に入らせていただいております。その2人の人をそれぞれ班長、副班長としていただく。どちらが班長になるか、副班長になるかは別として。

したがいまして、今回第1回目のこの基本条例に基づく報告会の班長、副班長は基本条例特別委員会の委員さんになるということが前提で進めていただいているということで、岡崎委員長よかったと思うんですが。どちらが班長、副班長になるかはこの後の話なんですが、例えて申しますと、佐々木議員と治徳議員がどちらかが班長、どちらかが副班長、あるいは福木議員と岡崎議員のどちらかが班長、副班長、金谷議員と松田議員のどちらかが班長、副班長、なお原田議員については議運の委員長ということでこの班長会議を招集する立場にありますので、もう自動的にそうさせていただく。決めるのはこの2人のうちのどちらが班長をし、副班長をするかということで今回は、第1回についてはさせていただこうというのを申し合わせであったと思いますので、そのように御理解いただければ、共通理解いただければありがたいと思います。

以上です。

○委員長（原田素代君） という段取りになっております。

○委員（北川勝義君） ちょっと、ええ。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） そがいなこと勝手に決めるようになってねえわ。出りゃへんわ、メンバー。そんなの誰がしてえとかというんじゃないのうて。やっぱりきょうそういうことじゃのうて、決まったらやっぱりこういうことがあったんじゃないことを報告をしてくれて、委員会でもしてくれてもやりようりゃええが、何にも報告がのうて、蚊帳の外で、自分だけが知っとなら、きょうのことでも知っとなら、こういうことはな失礼な話じゃ。それでこんな勝手にせえと。

僕は何にもけんかするつもりもねえ。あなたと違うて考え方な、これをするのはこういう考えでみんなが練ってくれたんでこれでよろしいと、うちの総務文教委員会で何か文句を言うた人もおるけど、これでええがな、やらせてもらおうやというて全員一致でもう決めて、またか

わりに1年やってみましようやというんで終わったんですよ。

じゃけど、そうやってきょうる、そねえなこと一々聞いてねえのに、何でもかんでもするかというて、別にうちで今言よる総務のほうへ出てからというたら、佐々木さんと、こん中でいうたら治徳さん、この2人どっちがなってもろうても別に問題はねんじゃけど、決めるそういうこと初めから聞いたかにやおえんし、そりゃ何を言よんならというて言よるけど。でたためな話をしたらおえんのや、これ決めな。

せえで、ここで委員長とか副委員長、議運で決めるようにはなっとらんよ、それ話じゃから。班長会議もするじゃとかというて。そりゃやられるのはええけど、反対しょんじゃねえ、僕がおらんから、おるからというんで、してえとかしとうねえとかそういう話でしょんじゃ一切ねんで、誤解のねえように。

やっぱり前もってこうでしたよというて聞いて言うてもろうとかなんだら、これ逆に委員長が聞いてなかったらもうむちゃくちゃ怒らあ。僕は怒るんじゃねえけど、できたらそういうことの申し合わせじゃねえけど、腹づもりあったけど局長が出てもらうんですよって決めとん、そうじゃのうて、そういうお話があったんじゃぐれえで。そしたら、もう皆さんがそのときにそういになっとんじゃというて、議長がきょう全協やりやあそういうお話ぐれえなっとんですよというたら、ああええなというて、できるんじゃねえかと思うんで。

議運でもう決めたり、そっちでも決まっとんじゃというて委員長誰というのはちょっと、それじゃったら言うてくれ。僕はしとうなかつたけど議会基本条例出とるかもしれん、うそで、それはうそ、うそ。

○委員長（原田素代君） じゃあ、岡崎委員長、どうぞ。

○副議長（岡崎達義君） 北川委員のおっしゃるとおりで、もう本当に申しわけなかったと思ってます。

ほれで、議会基本条例で一応流れが大体わかってるんで、班長、副班長は基本条例のメンバーでもらおうというふうに決まってきましたけど、皆さんに周知してなかったということは私、委員長としておわび申し上げます。

○委員（北川勝義君） いや、全然そんなこと思うとらへん、本当の話。

○副議長（岡崎達義君） ですから、そういう状況で、最初だけは基本条例のメンバーで班長、副班長をさせていただければと思ってますので、ここの議運で了承していただければと思ってます。よろしゅうお願いします。

○委員（北川勝義君） いや、ちょっと、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 言われたんで、もうあとくでえけんもう言う必要ねんじゃけど、ただ言よんのは、このことじゃのうて、何にしてもやっぱり事前に言うてもろうとかなんだらいけんということを書いたかったわけで。

そりゃここのメンバーの人は知っとるわや。メンバーじゃねえもん、知らんが。保田さんとわしは知らんが。保田さんなら仲ええけん教えてもらよんか、僕仲ようねえけん教えてもらえなんだ。じゃけど、極端な話、そうなたらだめなということと言よるわけ。嫌いな人でも物を言わにやおえんし、じゃったら議席も変わってもらやええが、場所を好きなもんに座らせてくれ、そういうわけにいかんですが。じゃけ、やっぱりそこんところは守ってほしいというんが1つ。

それで、大変言い方悪い、僕はこういう出てくるのは、もう勉強してもらいてえということがあって、うちでいうたら、総務でいうたら松田さんはやりてえ言うとな、勉強してもらってええで、佐々木さん、澤さんも行きてえ言よったんかな。やっぱり皆行きてえというのやって出てもらうようにしたんで、ええこっちゃと思うんじゃけど。

ただ、1個大変議運の委員長が、僕も議運しょって、議運がこれしていきよったから、ずっと研修しょっぱなしよったから議運がなりやええと思とんで、これもわかりよんじゃけど、ぜひ委員会、委員会になって班の中で班の班長がおるからどうじゃのうて、ええげにいかんやおえんし、秘密をせずにこれからは教えてもろうて、円満にいくようにしてもらわんだら、僕はもう前から言う腹立とることようけあるのや。腹立とるとの忘れて4月からしょんじゃけど。もっとオープンなというか、いつも誰かが言うが、オープンな、オープンなというて。自分らのときはオープンじゃのうて、オープンにやってもろうて、ぜひ委員長に議運の委員長が座長という、座長がもうこの決まりならえんで。僕は1のとこじゃたらええが、1じゃがん。決まったときに、話を班長会議をせられるんじゃろ、きょう。せられるんじゃろ、例えばの話が。決まったりするんじゃろ。

○委員長（原田素代君） 正・副の班長を決めるだけの会議。

○委員（北川勝義君） じゃけ、あ、それだけかな。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） いうたら、できたら班長会議せられるとき、僕も出てねえから、この日に会議決めるのは出てねえから、今ここで言われてというのは2人なるということでもう納得はしとんで。しとんじゃけど、決めるのはおかしい。そこで、6人の中で班長はこうがええんじゃねえかというて決めてもらうんがえんじゃねえかと思うて。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○委員（北川勝義君） そういう流れになりや。一遍会議を、この1班なら1班、2班とか1、2ありますわな、3つの。その班だけの会議を一遍してほしいということと言いたかった。

○委員長（原田素代君） それはもちろんこれから。

○委員（北川勝義君） いや、せなんだから、いや、きょうはそれを決めるだけで、僕はおらんけん、別におらんでもあれ見りゃ楽しいなと思うて、ぼっけえ言われるの楽しいなと思よん

じゃけど、秘密して自分らだけ知っとんじゃねえように、教えてもらいてえというんが。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） 議会基本条例の委員の中ではいろいろ状況知つとるからということで正・副をしたらどうかという話になって、まあそれでいいんじゃねんかという、僕もそう思ったんですけど、本来からいえば、北川委員も言われるように各班で分かれて、一応議会基本条例としてはそういった人を中心に選んでくださいねぐらいにしといて、あとはその班の中で正・副、一応もう一回集まって決めてくださいよというふうにしたらいんですけど、決定してくださいと。

ただ、提案としては議会基本条例に出てるメンバーを中心にできればお願いしたいんですけど、あとはその班にお任せしますということで。

○委員長（原田素代君） ということで、はい、わかりました。

○委員（松田 勲君） やられたほうが……。

○委員長（原田素代君） そういう御意見ですね。

○委員（松田 勲君） 公平じゃねえかなと。

○委員長（原田素代君） わかりました。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） ほんなんもうもとへ戻らんけど、局長、よう考えてみんせえよ。おめえ、局長も皆したように、岡崎さんも。何のために委員長、副委員長分けてしたんな。わかりようる、言よること。

間違うて僕と福木さんがとか、金谷さんが1班になつとる、同じ班じゃったら僕はおう、ええよと言う。そうじゃねえ、皆分けとろうがな。議長も副議長も。そしたらな……。

○副議長（岡崎達義君） そのとおり、そのとおり。

○委員（北川勝義君） 言うたらな、どっかの委員長が座長をせにやおえんとか、してえとか言よんじゃ、僕はかえってせんかも、せにやおえんとか、副がせにやおえんとかというふうにすべきじゃというのを僕が、この考え方の言よんとあんたらしょうることはアンバランスなということ、ギャップがある、わかりようるはずや、絶対。それを文句言よる。

それのに今度は決めてこうしましよう言うけん、おえんというて言よん。基本的には賛成しますけどな。

○委員長（原田素代君） 松田委員の提案がありましたが、じゃあそのように取り計らいますか。

○副議長（岡崎達義君） はい、そうしましよう。

○委員長（原田素代君） じゃあ、ちょっと全協の後にそれぞれで調整していただくというこ

とで。

○委員（松田 勲君） でも、おられんからあれじゃな、きょうできん。

○委員（福木京子君） この1班な。

○委員長（原田素代君） それはちょっと申し送りをしてもらってください。お昼までの時間に。

○委員（北川勝義君） ちょっとええかね、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 別にえんじゃけど、僕は考え方がそういう考えでやっとなんじゃねえかというのを言いたかったわけ。これは、例えば言うたら、こういうせえとかというんじゃねえ、北川がなると、それから福木がなると。それで金谷がなると、こういう流れの一つのことが前提じゃった、班長じゃのうても副班長になるとかというのが僕が片方のやり方じゃねえかと、ベターなと思よったわけ。

だけど、やりてえとして決して言よんじゃありませんのんで、お任せするんじゃけど、その中でちょっと松田さんが言うたんでええし、岡崎さんも言われることみんな同じことを堂々めぐりしょってもおえんけえ言うた、僕がおらんでもえんで決めていただきゃ、僕のそこへは、おらんが誰も、ここへは。おえんがな、ここへ、誰か委任しとくけん言おうと思う。小田さんに、議長に。

○議長（小田百合子君） 基本条例委員のメンバーは知ってますから。ですから、急でも構わない。

○委員（北川勝義君） だけん、もううちはまた僕はお願いは、うちはまた会議を説明してくれりゃえんで、小田議長、小田議長に委任しときますけん、小田委員に委任しとくから、やり方ええんで。

ただ、充て職でぱっと決めたというのだけは、決まっとったというのやめて、その中の松田さん流の話をお願いしますから。僕おらんでもやってもらや、委員長、よろしいから。それだけ一応言うとか。

○委員長（原田素代君） わかりました。じゃあ、そういうことで。

○委員（北川勝義君） 僕は、もっともっと心配しよったんが、今度丸山さんが出てこられ出したけえんじゃけど、山下さんが出てきてねえでしょ。早い話が、振り分けのそこへ行くところ、これどこへ行くんがわからんが。

○委員長（原田素代君） 横並びで1グループですから。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、違う、どこへ行くんかわからんが。

○委員長（原田素代君） ああ、開催地。

○委員（北川勝義君） そのことを言うて。

○委員（松田 勲君） 動くから。

○委員（北川勝義君） いや、動くんじゃないけど、今言うた、もしやって吉井やりようるときに、誰もな。

○委員長（原田素代君） そりゃ赤坂がないの、上の2つは2人かえませんかからしょうがないです。

○委員（北川勝義君） そりゃまあ委員がおらんとこまでは、1人のところもおるかもしれんわな。

○委員長（原田素代君） いじれないんだって。

○委員（北川勝義君） それで、一応賛成しときますんで、しますけど、今の松田さんとか岡崎さんが言ったような考え方で、小田委員に委任しときますけえ。それでよろしいです。

○委員長（原田素代君） そうしましたら、一応先ほどの2つの点の確認をさせていただくことと、全協の後の班長と副班長の選出のことも確認をさせていただきました。

それでは、以上の議会報告会についてはよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、その他についてありましたら。

執行部のほうからその他、何かございますか。

ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、議長のほうからお願いします。

○議長（小田百合子君） 前回の全協から積み残して、もう少し研究してからしますっていった問題を3つお知らせします。ごめんなさい、1つは違うんです。本会議の初日に全国瞬時警報システムJ-ALERT、これのことをどこで入れようかという話をしましたが、10時15分ということは選挙に入ってしまう可能性があるんです。だから、その前に暫時休憩にして、議長の諸般の報告が済んだ時点で暫時休憩をして、暫時休憩の後、市長の挨拶と、その中でJ-ALERTのことを市長にちょっと説明してもらおうという形で流していきたいと思うんです。

だから、ちょっと休憩時間が、暫時休憩と言いながら15分、20分になるかもしれません。

○委員長（原田素代君） 議長挨拶の後ですね。

○委員（北川勝義君） 議長が言ってからそれ暫時休憩でええ。

○議長（小田百合子君） 議長の諸般の報告が済んでからということに。

○委員長（原田素代君） 休憩をとるということで。

○議長（小田百合子君） させてもらいたいと思います。それから、これが前回からのはっきり決定してなかったことなんですけど、一般質問の順番について、今回までは今までどおりで話し合いでいきましよう。その次からのことを決めましようということ、副議長やほかの方も相談しながら、もう受け付け時間が重複した際に限って抽せんにするという、2人、3人同時じゃったときに限って抽せん。

そして、抽せんの方法については議長一任とさせていただきたいと思いますので、そのところ御了承願いたいと思います。

○委員（北川勝義君） そのことちょっと聞かせて。

○議長（小田百合子君） はい、いいですよ。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は今回も前回は3回続けて言うた、今回は、前回のことはいい、今まで言わん、今回のこと言うたら、今回はたしか金谷さんと澤さんと僕と3人じゃったんです。それで、僕電話で話してしたときに、僕前譲って、澤さんも譲って、どんなじゃろうかというたら、これやりてえことがあるからというたら言うてください。次はもう澤さんというて譲りますけんというよろしいというて。

じゃから、僕は原則としてそういう話ができるんが、局長が話してできると思うんで、議長が抽せんじゃとかというたりするような話じゃのうて、出たら受け付けわかりますが。僕ら今さら譲らんというか、絶対譲る言うとなんじゃから、2人で、ずっとじゃもう……。

○議長（小田百合子君） 今回と、澤さんとの話し合いとはまた別ですけど。

○委員（北川勝義君） 言うたら、それが、そういう話があるのに、今度は次んとき出て、僕は出んけど、例えば出たとするが、くじになって僕になるわけにいかんし、今言よんのは、今度はもし澤さんと僕だけ出たとする、僕は出さんよ、僕は出さんで、1番に出さん、出たとするが。したら、わかるでしょ、言よること、僕もなるけえ、ぜひ話し合いぐれえして、話し合いがつかにゃ抽せんぐれえにしてほしい。

何か市役所の中で、議会の中でこんな一般質問で話し合いがつかずにどっちがやるんじゃというて抽せんしょうりましたというたんじゃと何かおもしろうねえような気が、僕はなるんじゃけどな。別に格好が。

○委員（松田 勲君） 決まらんかった場合でいいんじゃろう。

○委員（北川勝義君） 決まらん場合にしてほしいと思うて。

○議長（小田百合子君） すんなりと決まればじゃけど、常に譲る人っていうのが出てくるんですよ。だから、できれば最初と最後ぐらいにしかならないと思うんですけど、最初の2人、3人出たときにはもうあっさり抽せんっていうことでやらせていただきたいと思いますので。

○委員（北川勝義君） それな、そんなこと言うたらな、議長な。ちょっとそんなこと言うたら、ちょっとええですか、委員長。

○委員長（原田素代君） はい。

○委員（北川勝義君） そんなこと言うたら、全協で諮って、今度は僕がしてえとか、しとうねえとか、約束事どうこう言うんじゃねんじゃ。僕が言うた、もしかしたら頼まれても出しとるもんじゃとか持ってくるとかいろいろなことになって、いろいろ問題もあった。じゃけ、あ



あじゃこうじゃ言うた。僕はもうそんなときはええですよ、譲りますよというて譲つとる。それで、次んときには、その前んときしたときにはこうじゃけ、いや、それはもう僕が取り下げ、譲りゃへん、取り下げるんじゃと。取り下げて1番の人がしんせいというような話を議長、しましたが。

そういうじゃけん、何ぼかもそれがきかんとときには抽せんすりゃええが。初めから抽せんですよというんじゃったらもう全部抽せんせにゃおえんから、1番じゃのうて全員を抽せんせにゃおえんけん、そんなことを一々こんなことでやる必要はねんじゃねえかと僕は思うた。

せえで、やるんじゃったらもう不公平生じる話じゃのうて、日にちはもうそんなに長うとらずに、1週間もとらずに、1日間でこの日に出してくださいというてきて、もう全員を皆ぼんとやっしてしまわにゃおえん。何日もとってから、時間を1週間もとってやるようなことは失礼なで、そういう期間も問題になるから、今んとこ行くんじゃったら、期間問題になるんじゃたらとりあえず検討してもらよるんじゃねえけど、一番最初に5人出たとしますが。

その中で、ほんなら保田さんはやりてんじゃと、福木さん皆、いや、ほんなら福木さん、私はほんなら次にしまししょうか言うたりして、ほんなら話ができ、できなんならもうできん3人の中でくじというんかな、議長がもう事務局に命じてぱつと引いてもらうような感じをすりゃえんじゃねえかなと思う。

話ができるときに、仮に金谷さんと僕だけで、金谷さんが、僕が行くけえな、行きんせいというてこれで終わりゃえんじゃねえかなとは思いうんじゃけどな、僕は。それを別にくじにするんじゃたら全員の出たのを、日にちを1週間も日にちをとらずに、2日間なら2日間で出た日にちをぼんといかにゃおえん。僕はそう思います。

じゃから、とりあえず今回はもうちょっと研究するというてそのままいって、今んとこ抽せんが、話し合いができん人はくじするというぐれえなほうがあんじゃねえかなとはちょっと思うたんです。1番だけというのは。

○委員長（原田素代君） ほかの方はどうですか、御意見。

○委員（松田 勲君） ならばばらくはそれでいいんじゃない。もう譲れんとなったらもう議長判断でされたらいいと思います。

○委員長（原田素代君） 皆さん、いかがですか、ほかの方は。

はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 私は一番最初に出した日にち、最初の日と最後の問題だろうと思うんですけど、これは当然重なることがわかつとんじゃから、あれこれみんな出したいから出しとんであつて、そうじゃない人は出さないから、出されたらもう重複するようなら、それは一言は話をすりゃええと思うんですけど、一応それぞれの思いがあるんじゃということになれば、もうそれはくじ引いてもらやええと思います。

○委員（北川勝義君） ちょっと待って、委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕しゃべる。

○委員長（原田素代君） ごめんなさい、ちょっとどっちか消してくれます。

○委員（北川勝義君） それじゃったら、もう全員が出した期間をこの1週間とらずに、こっから問題になるんじゃ、こうやらんなんだら。期間を1週間じゃのうて2日間ならして、1日でもええ、その日だけして、その日の5時まで、全員出てきて、こん中おった人が全員出たと、それで全員でくじ引かれ、何番というて。そらそうや、それが平等なん。それがいくんじゃったら一番ええ。

そうじゃねえ、1番出た者だけ引きましょ、そねえな話じゃのうて、1番から全部引かにはややこしゅうなるから。

○委員長（原田素代君） はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） だから、1週間あっても出したい人は初日に全部14人でも18人でも僕は出しゃええと思うんです。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、ちょっといいですか。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） これはよう議会で考えて、一般質問するのに初日、通告期間を1週間とつとる、ここは。会期で今決まってきた。そのことも直していかんやおえんようになるということと言よる。

そりゃええんじゃ、そりゃやとときゃえんじゃというて、やりてえ者だけで、そねえなごじやな話をしよったら。今回も金谷さんにも、僕はちょっと言いてえことがあるからというて言うただけで、それおえんというたらくじにすると、くじも仕方ねえ話、澤さんも言うておった、僕はそのときにどっちにも言うた、どっちかでってなったら次は出さんと思いますけど、なったら譲りますけんというて、僕は譲るというたらおかしいけど、そういう気持ちになっとんじゃけん。

そりゃそういう話ができんようなんじゃったら全員のくじをしてくださいよ。一人だけ、1番に出たんが2人、松田さんと金谷さんが出たから2人だけを1番、2番を決めるじゃのうて、全員をしてもらわにやかなわんわや。

○委員長（原田素代君） ほかの方の意見はいかがですか。

ほかの方はいかがですか。

はい、福木委員。

○委員（福木京子君） 私はもうとにかく日にちを短期間というのは反対しとんです。

じゃけど、1番というこだわりのある人が何人もおられるわけじゃな。

○委員（北川勝義君） おりゃへんがな。

○委員（福木京子君） 別に私なんかはこだわらんものじゃけど。

○委員（北川勝義君） そりゃこだわる者もおる。1人や2人おる。

○委員（福木京子君） いやいや、こだわるとるからこういう問題が起こるとるわけじゃろけど。難しい問題で、第1回はその話をして、ちょっと折り合いがつかんようじゃったら抽せんすりゃえんじやないんじやろか。

○委員長（原田素代君） どうでしょうか。一応議長のほうの提案に対して、ここの議運で結論を出して全協に報告したいと思っておりますので、幾らか意見が分かれてましたが、ほかに意見言ってらっしゃらない方からそれぞれ。

はい、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） いや、私も話し合いができれば話し合いをした上で、話し合いがつかないなら抽せんというほうがいいんじゃないかなと思います。

議長はどうしても譲る人も出てくるという話なんですけど、そこはそこ、大人の話ですから。自分は譲れん、絶対譲れんと、1番だというふうになれば、どっちもが譲れなければそこで抽せんということもいいんだと思います。

○委員長（原田素代君） 保田副委員長の意見は。

○副委員長（保田 守君） 岡崎さんと同じ。

○委員長（原田素代君） ああ、そうですか。

○委員（北川勝義君） 要らんことちょっともう一遍言ってもええじゃろか。

○委員長（原田素代君） 意見。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 和気町やこう議会だよりがあろう。議会だよりがあるが。和気のみんな見られとる、議会だよりの一番最後が一般質問出るんじや。一般ずっと書いとる。そのときに最後はカラーページなん、表と後ろが。白黒じゃのうてカラーページになるんじや。

じゃあから、この一番後ろへ行くというて、その書くんがあろう。いや、カラーじゃけ、せえで1回ずつ写真が同じの使わんのんじや。

○委員長（原田素代君） わかりました。

○委員（北川勝義君） 大変言い方悪い、うちのほうの、1個だけ、ちょっとそれ言うてから。

うちのほうの一般質問しようるときに、同じ写真ばあ使ようろう、ずっと。撮った365日同じ写真じゃろ。そしたら、和気やこう違うんじや、写真が。せえで、別にえんじやけど、どねえでもえんじやけど、わしらコストが悪いけんどもえんじや、撮ってくれたり、どういうんかな、一遍ぐれえ議会事務局があそこで物を言よる……。

○委員長（原田素代君） ちょっとそのことは話がそれますので、一応宿題であった一般質問の取り扱いについてちょっと議長、採決しましょうか、まとまりそうもないので。

○議長（小田百合子君） 採決はそぐわないと思います。しないようにしてください。

- 委員（北川勝義君） 議長、ちょっともう3月まで待とうや。
- 議長（小田百合子君） 全員一致でそれでよかろうということであれば、全協でそうなりましたということで報告ができるんですが……。
- 委員長（原田素代君） それでよろしいですか。
- 議長（小田百合子君） それはちょっと難しいようなんで、全協にまた前回と同じようにこういう意見などが出ておりますが再度協議していきたいと思いますので……。
- 委員長（原田素代君） まだ決定しない。
- 議長（小田百合子君） ほかの議員の人にも意見を出してくださいと。  
もう最終は全協で採決する可能性もありますけども、それをきょう御報告しておきます。
- 委員長（原田素代君） じゃあ、ここでは決めないということ。  
承知しました。
- 議長（小田百合子君） じゃあ、次にそしたらもう一つ残っておりますので。
- 委員長（原田素代君） お願いします。
- 議長（小田百合子君） 前回も言いましたけど、委員会が警報が出てるときの委員会を中止するかどうかという話ですが、その分ではやはり執行部の職員が出ていってしまってるとか、そういう兼ね合いもありますので、やっぱり早目に決定するっていうことで、普通は軽く済みそうなきっかけだったらそのまますればいいし、ちょっと危ないなど、警戒水域に達する現場で待ってる職員とか、いろんな人が出払ってる状態ではもう早目に中止を決定しなければいけませんので、開会時間の1時間半前にそれを決定するという。つまり8時半です、8時半にそれを決定するために、関係の……。
- 委員長（原田素代君） じゃ、吉井の人大変。
- 委員（北川勝義君） じゃけえ、任しちゃりゃええが、それ。
- 委員長（原田素代君） 一任するって言えばいい。
- 委員（北川勝義君） 委員長にな、わしゃ一任するんでえかろう。おえんのんか、そりゃ、難しんか。
- 議長（小田百合子君） 関係の委員長や、そういった……。
- 委員（北川勝義君） 委員長、副委員長、執行部と。
- 議長（小田百合子君） 方たちと、もちろんそのとき執行部にその執行部の態勢はどうかということもお尋ねした上で、そういう……。
- 委員（北川勝義君） ちょ、ちょっと議長、ええ。
- 議長（小田百合子君） だから、そう……。
- 委員長（原田素代君） ちょっと、最後まで。
- 議長（小田百合子君） そういうふうに1時間半前に決定してその関係の人には全部お知らせするという。それで全協で発表したいと思います。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は議長の言よることようわかるんじゃけど、本会議じゃったらそうすりゃええと思うんじゃ、避難が出とる。いや、委員会じゃけ、そう1年に何遍もあつては困るけえ、あるこっちゃねえと思うんで、ぜひ招集するのは委員長名で招集するんで、委員長と副委員長が相談して、そのときにはもしそういう状態じゃったら担当部長が絶対電話してきますが、局長とかが。それと相談させてもろうて決めさせてもらおうというふうに、そうせにゃ、全部どういうんかな、と思うんで、僕はできたら議長、腰を折るんじゃねんじゃけど、本当難しいんでしょ。僕が一番遠いんで任す言いてんじゃけど、委員長がおつたら委員長、副委員長に任せましようや、そりゃ。そうしてもらわな。せえで……。

○委員長（原田素代君） いや、だから……。

○委員（北川勝義君） やり過ぎて余り、悪いような気で、しときゃえかったのにというたのにどうも思うんで。

○委員長（原田素代君） 濟いません、要するに議長の判断というのは執行部の状況を把握した上で委員長、副委員長が理解してほしいということなんです。だから、委員長、副委員長できょうどうする、こうするじゃなくて、執行部は今こういう状況になつてるので判断してくださいということなので、そこをどうするかです。

だから、電話でもありかなと、北川委員の話でいえば。例えば、局長から、今執行部はこういう状況で難しいかもしれませんというのがあれば、それを正副委員長で、じゃあとりあえずやりますかとか、いや、ちょっとじゃあ時間を遅くにしてやりますかとか。

ただ、議長が言ってるのは執行部の状況を把握してほしいということなので。

○委員（金谷文則君） そうでなかったら。

○委員長（原田素代君） そうです。だから、招集ということの提案なんですけど。

○委員（北川勝義君） ちょっと、それはえんじゃけど、委員長がするんじゃけん、今言う局長とか関係部長と相談して電話があるから絶対話をして、正副委員長が話をして決定をすりゃええと思うて、と思よんですよ、任せてあげりゃ。余り早うやり過ぎとるのも困るというたらおえんから。

ただ、本会議場のような今回のいろいろ批判が出たりいろいろあつたけど、僕はうちの議会にしたら別に悪うなかつたと思うたん、やっとなんか。避難が出とつたけど、それ避難出とんのやらんというてその考え方があるんじゃけど、これが全議員が、職員がおりゃにゃおえんような状態のときじゃったら、もうこれはやめにゃおえんが、やめとかにゃおえんけど、支所長がおらなおえんとかというときはやめとかにゃいけんけど、そうじゃねかつたときじゃけん、僕はええ判断じゃつたんじゃねえ。かえって中止しとつたほうが批判が大きかつたんじゃねえかと、ちょっと僕は思よんで、そこらが判断が、執行部と市長と議長らが相談してやられたん

じゃけん、そういうふうに任せて何ぼか委員会のこっちゃから、そうすりゃえんじゃねんかなと思うんじゃけど。

○委員長（原田素代君） え、具体的に言うと、要するに事務局のほうからの執行部の状況を報告いただいて、正副委員長で電話でやりとりして……。

○委員（北川勝義君） そうそう。

○委員長（原田素代君） 最低1時間前に決める。

○委員（北川勝義君） そう、そりゃ最低で1時間前に……。

○委員長（原田素代君） それは1時間前でっていうことで。

○委員（北川勝義君） 1時間半まで……。

○委員（福木京子君） 半前じゃろ。

○委員（北川勝義君） 1時間半じゃったら8時半じゃけ。

○委員長（原田素代君） いや、招集は1時間半ですけど、決めるのは1時間前には……。

○委員（北川勝義君） 半前じゃねえとおえんわ、そりゃ招集でも。

○委員長（原田素代君） 招集は8時半でしょ。

○議長（小田百合子君） 8時半に決めないと、もうそれより後……。

○委員長（原田素代君） じゃあ、8時……。

○委員（北川勝義君） あとでできんが。

○議長（小田百合子君） 吉井の人はこっちに向かっている。

○委員長（原田素代君） でも、8時半集合っておっしゃったじゃないですか。集合してすぐには結論出ないですから。

○委員（北川勝義君） 災害出よるときにはもうみんな職員がおるけん。そういうときには市長ら来とんじゃろ、大変なときにゃ。家で寝とりゃへんじゃろ。

○委員長（原田素代君） だから、今の議論の中で出てきたように、1時間半ぐらい前には事務局と執行部の状況を判断して正副委員長で1時間前には連絡をするということでもいいですか。

○委員（北川勝義君） 1時間半じゃおえんの。

○委員（松田 勲君） 1時間半前でええ。

○副議長（岡崎達義君） 1時間半前でええ。

○委員（北川勝義君） 1時間半でええよな。

○議長（小田百合子君） いろいろ考えて1時間半前というふうに。

○委員（北川勝義君） 1時間半でえかろう。

○委員長（原田素代君） 要するに、決定がですね、判断がですね。

○議長（小田百合子君） そうですね、はい。

○委員長（原田素代君） 判断が1時間半前には判断すると。

- 議長（小田百合子君） 1時間半前には判断。
- 委員（金谷文則君） 判断して連絡のほうは1時間。
- 委員長（原田素代君） そういうことです。
- 議長（小田百合子君） でも、判断して連絡するのといったって、あと数人に電話すりゃええ。
- 委員（北川勝義君） すぐじゃけ、それは……。
- 委員長（原田素代君） 委員会だからね。
- 委員（金谷文則君） この1時間まで30分待って1時間たってからじゃないとおえんということ。
- 委員長（原田素代君） 違う、違う、違う……。
- 委員（北川勝義君） わかるわかる。
- 委員長（原田素代君） そういう問題じゃない。
- 委員（金谷文則君） 1時間半前には。
- 委員長（原田素代君） には。
- 委員（金谷文則君） 連絡をするということ。
- 委員長（原田素代君） そういうことです。
- 委員（北川勝義君） 災害が、ええかな、災害が起きたときには絶対、起きかけよるときには、職員が待機して第1次、第2次非常配置がついてから全部出とんじゃから。そしたら、6時や7時でも見たら、子供じゃねえから大体、ただちょっと1個言うのは、吉井で大雨降りようるのに、こっちで降りようらんとか、この間みてえに山陽じゃなるというのをちょっとわからんので、そういうことが今……。
- 委員長（原田素代君） だから、それは執行部に……。
- 委員（北川勝義君） 急速なんがあるんで、そうしたら出とるから連絡だけつけてもらうようにしたら。
- 僕はこの間も言うた、本会議のとき、支所長帰りよったけえ、ええ判断したなと思うて、帰ってもろうときゃええと思うたから、僕は議長らが言われたそれがえかったんじゃねえかと、市長らがええと思うとんで。
- 来るのは実質1時間あったら原田さん、来るんじゃけどな。1時間で来るんじゃけど、やっぱり段取りがあるけえ、1時間半にはもう……。
- 委員長（原田素代君） そうですね。
- 委員（北川勝義君） じゃから、8時ごろにおるけえ、7時半には決定できよう、そういうときには、災害には、どうなるというのはな。
- 委員長（原田素代君） 基本10時ですから8時半には決定するというので、議長、よろしいでしょうか。

○議長（小田百合子君） はい、それで全協に報告させていただきます。

○委員長（原田素代君） ほかにありませんか、その他は。

○議長（小田百合子君） はい、ほかにありません。

○委員長（原田素代君） じゃあ、委員の皆さんから何かその他で、ここで伝えておくことは、よろしいですか。

○委員（北川勝義君） ちょっと1点だけお願いしてえの。

○委員長（原田素代君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 文句じゃねんですけど、皆さんから聞いて2つのことがあるんで、1点というんが同じことなんですけど、イベントのことで、議長いつも言われて、議員に案内があったときにはなるべく来てくださいというて、来られん議員もおる、来られる議員もおって早う帰る、いろいろあって。

やっぱり言うたら、今ごろイベントしても来るんが少なかったり多かったですんで、ぜひ議長が言われよったような議運でどうこう言えというじゃねんじゃけど、議長が正式に案内あったときには議員出てくださいと議長言られるわな、いつも。出るべきじゃねえかなと思うたんが1個あって、いろいろ諸事情があるからどうこう言うんじゃねんですけど。

それで、この間のときのふるさとまつり、僕もちょっとほかの所用しよって行ってやりよって、ステージの前、悪いと思ってずうっと動けれんようになって、あそこの見てあげにや、本気で一生懸命やりようのに誰も見やらへんようなこっちゃけえ、どうも気になった。

それで、今度は足場が物すごい赤坂のそこ悪かって、あんだけ雨降ったら悪いんかもしれんけど、水はけというんかな、それから僕はもうあえてテントに行かなんだんですよ、ほかの用もあって行かなんだ。行ったら物を買うたげるんじゃけど、大儀なけえというんじゃねえ、行ったらもう全部買う、時間もなかったからというたら、結果的にや売上げが大分落つとると思うんじゃ、雨が降ったりしたりしたら、物すごい。

例えば、こんなこと商売人がやりよんなら別にどっちゅうことはねんで、商売人のこと、テキ屋さんもあるけど、そんなこと何とも。ただ、例えば障害じゃとか子供会じゃとかやりよってから売上げなかったら、もう活動ができんようになる、これ楽しみにしとんがあります。ぜひこういうときに、週間の天気見とって、天気はどねえにもならんのじゃけど、赤磐市の市としてからのまさぐれえ入れちやるというんかな、あそこんところへ。雨がいきょうる、テントの張りょうるところあるが、あそこずうっと。あれぐれえちょっと考えてもらわにやおえんのじゃねえかなというのが1点あったんですよ。それで、みんな行かれとった人が言われたんですよ。

それからもう一個は、これは全体考えてもらわにや、ワインまつり、ワインフェスト。ワインフェストんときに、やっぱり見てからほんま少ねえというんか、やっぱり押しなべてここでおろして丸4年、丸5年ぐれえなるんじゃけど、ドイツの森。もう一遍場所を検討を、やっぱ



り今ごろになって同僚の下山議員も言ようた、今ごろになったら地元も、地元でしてくれにや何の価値もねえってこういう発祥の地でしてくれにやというたりする話が出てきよんで、やり方変えるとか、変えいうてすぐじゃねんじゃけど、場所とかというたら、結果的に観光バスが来てドイツの森は来るから入るんじゃけど、何の意味もありゃへんというようなことになってきとる愚痴が出とんですよ。

そこらがあって、前はもっとスポ少でもぎょうさん出てきてやりよったんが、もう少のう人がなるんで、やっぱりそこらんとこちよつと考えてもろうて、昔みてえな是里でフリューム置いて焼肉しようと、ワイン飲めて、それも一つの方法です。テントも全部じゃけどやれえとかという、どこがいう、指図しょんじゃねんじゃけど、した人がやっぱり売れが悪かったりするというのは、したら売れが悪い、来んというて悪循環になる、いろいろあるんで、ちょっと今後、きょう議運があるというてちょっと言えよつて言うとかという話じゃって、ぜひイベントしょんが悪いとかといよんじゃのうて、熊山の花みていに大盛況になりようんもあります。ちょっとそこを何か考えてほしいというのをちょっと言われとんで。

これは議運のほうから言うんじゃねえ、議長さんもおられて、何かせえというんじゃねんで。保障しちゃれということもしょんじゃねえし、雨が降ったらしゃあねえし、ぜひそれを考えていただきてえ、場所等もという話があったんで、ちょっと御連絡だけお願い。

○委員長（原田素代君） 各委員会に、皆さんのほうでも相談してみてください。

その他はもうよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは次に、委員会の閉会中の継続調査及び審査について御確認をお願いしたいと思います。

お手元に配付しております表のとおり、議長に対し閉会中の継続調査及び審査の申し出をいたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、このように申し出をいたします。

以上をもちまして第14回議会運営委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

午前11時30分 閉会